

退職のご挨拶

大谷裕之

この度、令和5年3月をもちまして横浜国立大学を退職いたしました。私が横浜国立大学理工学部化学生命系学科 化学教育プログラムを担当していた期間においてお世話になった化学教育プログラム担当の先生方およびスタッフの皆さまに感謝申し上げます。また、化学教育プログラム担当教員期間に教育や研究を通じて関わりのあった卒業生や学生の皆さんにもお礼申し上げます。さらに、中途から関わりを持つようになった国大化学会の皆さまにもお礼申し上げます。化学教育プログラム代表を仰せつかった期間には、横山幸男会長の元で副会長として会の運営に参画させて頂きました。そこで、化学系ソフトのライセンス料補助支援、配属学生歓迎会支援、博士課程進学支援、学会発表支援、あるいは就職支援などの多岐に渡る国大化学会の支援活動を知り同窓会の有難さを知る機会を得ました。

私は、昭和62年3月に大阪大学大学院理学研究科より理学博士の学位を授与され、直ちに財団法人相模中央化学研究所に博士研究員として入所しました。相模中研では、新規医薬・農薬品の開発研究グループに所属し研究者の道を歩み始めました。その後平成元年9月に縁あって横浜国立大学 教育学部 化学教室の助手として採用されました。そして、今年度3月に無事に横浜国立大学を退職することとなりました。この間、横浜国立大学の組織改編に伴って、教育学部、教育学研究科ならびに環境情報研究院と本務する部局が変遷しました、併せて、担当学部は教育学部、教育人間科学部、および理工学部と渡り歩きました。三十有余年もの間、研究者ならびに教育者としての道を全うすることが出来たことは大変幸運なことであったと思います。

大学組織改組やコロナ対策での授業方法の変更など若いころには考えもしなかった様々な経験を積むことが出来ました。しかし、研究については学生時代から慣れ親しんだ「有機 π 電子系の化学」に関する研究を一貫して行ってきました。教育学部の助手



時代には、研究実験室がない（最初は科学教室の有機化学学生実験室を間借りしてました）、研究室所属学生が居ない、研究経費がない、さらに有機化学実験に必要な不可欠なガラス器具や装置がないという状況から研究をスタートさせました。しかし、年齢を重ねるとともに教育人間科学部や理工学部の学部生や環境情報学部の院生などの研究を共に行ってくれる学生が徐々に増えてきました。また、それなりに有機合成化学に必要な試薬や機材もなんとか揃えることができました。このような弱小の研究室でも納得のいくまで研究を行うことができ、「新規有機 π 電子系分子の創生とそれらの分子集合体としての化学に関する研究」として、基礎有機化学の発展に微力ながら貢献できるような成果を挙げられたのではないかと考えています。このような研究が継続してこれたのは、研究室に所属し研究目標達成を夢見て毎日実験を行ってくれた多くの所属学生の皆さんの地道な努力と、共同研究者の協力の賜物であると感謝する次第です。また、研究についてアドバイスを下さった他分野も含む教育人間科学部、環境情報研究院、および化学教育プログラム関係の諸先生方のおかげです。

私は、研究と教育の場面から殆ど退場した身です。ここに、化学教育プログラムおよび国大化学会に関係する全ての皆さまのご健康とご活躍をお祈りするとともに、化学教育プログラムと国大化学の益々の発展を願っております。

退職のご挨拶とその後の近況

關 金一

3月に退職して新たな世界に飛び出しました。30年以上横浜国立大学で充実した教育研究生活を送れたこと本当に今振り返ると幸せでした。在職中には同窓会をはじめ、応用化学科、電気化学科、材料科学科の諸先輩方、後輩の方々にお世話になりました。本当に「感謝」の一言しかありません。ありがとうございました。

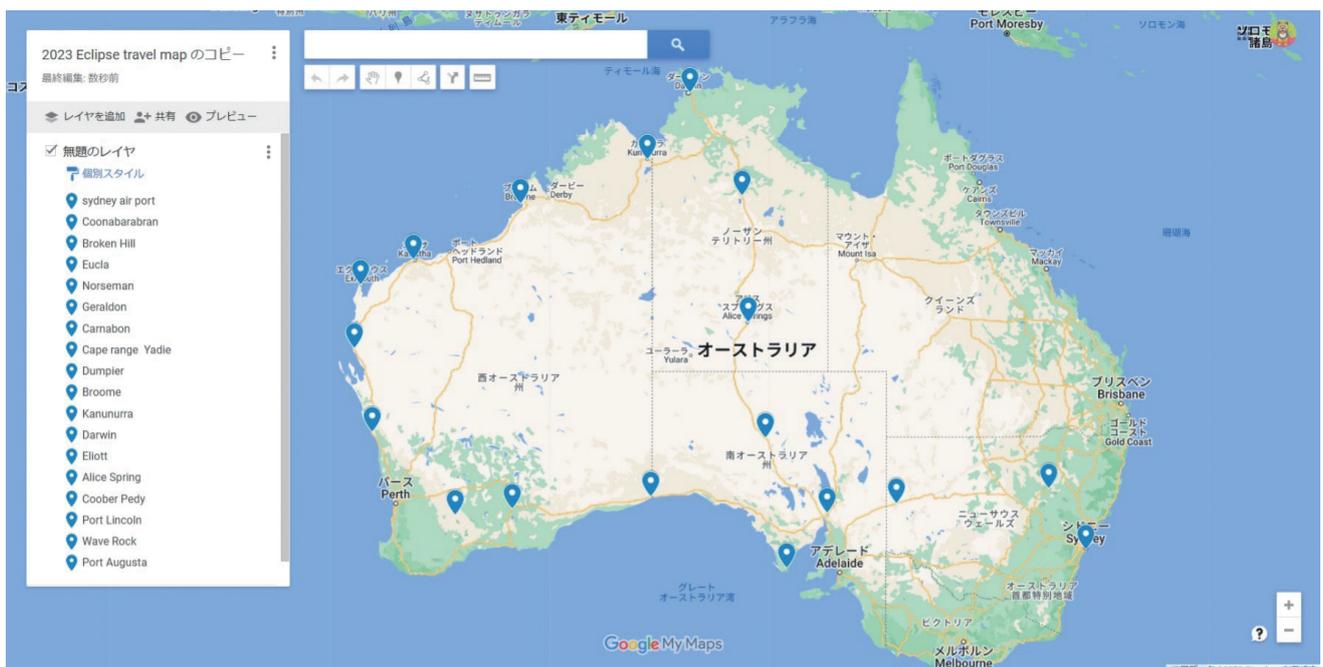
さて、私事ですが、4月からはオーストラリアと日本を行き来して暮らしております。サイディング天文台のあるNSW州クーナバラブランを起点とし、4,5月にかけてオーストラリア大陸をキャラバンカーで駆け巡りました。総走行距離14,000kmの長旅でした。実際に廻った経路は少し違うのですが、オーストラリアを走破した図を揚げました。一日あたり300~500kmの走行には友人と3名で交代しながら運転しましたが、さすがにもう当分はハンドルを握りたくなくなりました。

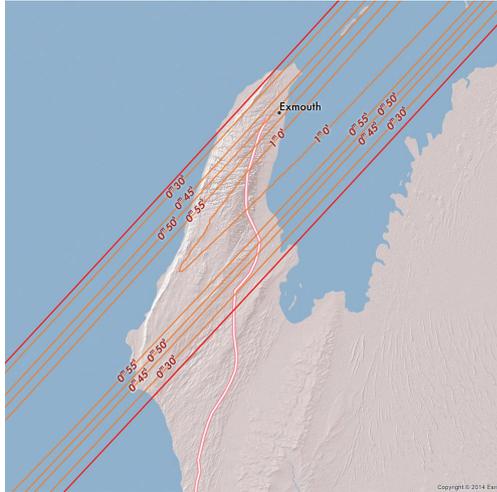
この旅の目的はいくつかあったのですが、一つの目玉が4月20日にオーストラリア大陸の北西にあるCape Rangeと呼ばれる小さな半島（それでも伊豆半島ぐらいの大きさですが）をかすめる、金環皆既日食の観測でした。この半島はジンベイザメがこの季節訪れることで有名な場所で、日本からもバブル期



には大挙してダイバーが訪れていたExmouthというリゾート地を控えた風光明媚な場所です。

次項の図にある線上を皆既日食帯が通過していきます。実際に皆既日食が見えるのはたった1分間でしたが、宇宙からの素晴らしい贈り物に感嘆しました。下図が実際の映像です。この画像はいくつかの異なる露出の画像を組み合わせたもので、実際の皆既日食が肉眼でこのように見えるわけではありませんが、その何とも形容しがたい現象の一部は再現しています。周りに筋状に見えるのはコロナとよばれる太陽の大气です。現在太陽は活動期でほぼ対称にコロナが広がっており、日食時にしかこの姿を拝むことはできないものです。画像をよく見ると太陽の端にプロミネンスとよばれる太陽表面から飛び出し





た気体が見られます。この部分の大きさだけでも地球の10倍以上あるというスケールの大きなガス噴出です。カラー写真ですとこの部分や月に隠された太陽のふちに赤い部分が見られるのですがこの色が皆既日食中に知ら見られないルビーのような色で一度見ると魅せられてしまう、甘美なシルエットです。ルビー色是水素原子のバルマー系列の発光で実験室でも見られますが皆既日食時のそれはまた格別です。

旅の目的のもう一つはアウトバックとよばれるオーストラリア内陸部で見る星空です。キャラバンカーで野宿をしながらみる、光害のまったくない星



空は人生を変えるものです。特に南半球では銀河系の中心部が天頂に来るのでその輝きはすさまじく、360度遮るもののない大地で寝そべて天を見上げるとまるで宇宙に自分が漂っているような不思議な感覚にとらわれます。是非一度経験なさることをお勧めします。

退職後の生活は現役時代にできなかったことに明け暮れ、充実したものとなっています。

最後になりましたが、国大化学会のさらなるご発展を祈念しまして筆をおきます。

令和5年8月佳日

退職にあたって

湊 盟

退職の挨拶にかえて、偉人の言葉を紹介したいと思います。

Thomas Alva Edison

I have not failed. I have just found 10000 ways that won't work.

The best thinking has been done in solitude. The worst has been done in turmoil.

Our greatest weakness lies in giving up. The most certain way to succeed is always to try just one more time.

Karl Ziegler

私は自分の好奇心を満足させるという目的以外の動機で研究をしたことはない



開高健

金脈には人脈はない

最後に私の好奇心につき合い、何百もの上手く行かない実験を発見してくれた学生諸君に心から感謝します。